第５学年　国語科学習指導案

１　単元名　椋鳩十の作品の世界を味わおう

２　本時のねらい

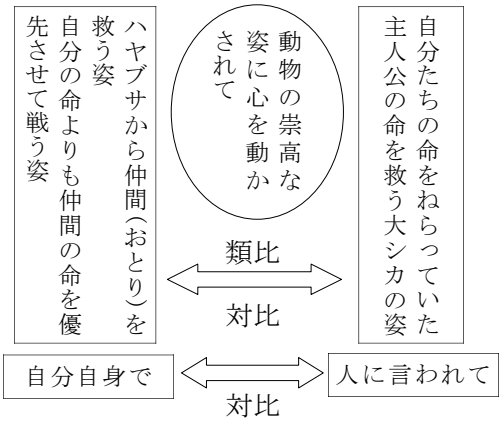
「大造じいさんとガン」で身に付けた読みの力を活用しながら、登場人物の変容やそのきっかけ、登場人物同士のかかわり方を読み比べ、話し合う活動を通して、椋鳩十が２つの作品を通して伝えたかった思いや願いを読み取る。

３　準備物

【教師】センテンスカード、ワークシート、椋鳩十の伝記

【児童】教材プリント

４　展　開

学習活動・内容（時間：分）	教師の働きかけと評価（評価方法）
１　前時までの学習を想起する。　(5) ・人間と動物とのかかわり方の違い 期間、人数、戦い方、戦いへの思い ・「大造じいさんとガン」の主題 動物に対する畏敬の念 人間としての高まり、成長	○　教師と対話しながら、前時までの学習を振り返ることで、２つの作品は非常に似ているが、人間と動物とのかかわり方に若干の違いがあったことを想起させる。 ○　以前学習した「大造じいさんとガン」の主題を想起させることで、２つの作品の主題を比べる構えをつくる。
椋鳩十さんが２つの作品に込めた思いや願いは同じだろうか。	
２　「銃の下ろし方」は同じなのかを話し合う。　(25)  	○　対比させる前に、それぞれの作品でだれが銃を下ろしたのかを確認することで、自分で気が付いて行動にうつしたのかどうかに違いがあることに気付かせる。 ○　２つの作品に共通する「じゅうを下ろした」場面に着目させることで、登場人物の心を大きく揺さぶるきっかけとなった動物の姿に目を向けさせる。加えて、それを見た登場人物の心情の変容も読み取らせる。 ○　自分で理由を書けない児童には、「大造じいさんとガン」での残雪の姿を具体的に示すことで、もう１つの作品のクライマックスの場面に着目しやすくさせる。 ㊟　「大造じいさんとガン」で習得した力（登場人物の変容を読み取る力）を活用しながら比較し、撃つのをやめた理由を読み取ることができる。 （ワークシート、話合い）
３　椋鳩十がそれぞれの作品にこめた主題は同じなのかを話し合う。　(12) ・共通点…動物に対する畏敬の念 ・相違点･･･人間としての高まり、成長	○　作者が２つの作品に込めた主題は同じなのかを問うことで、椋鳩十がそれぞれの作品に込めたメッセージの違いに目を向けさせる。 ○　教師が意図的に指名することで、双方の意見が出るようにする。特に、「人間としての高まり、成長」は同じかを全体に問い直すことで、読みを深めさせる。 ㊟　主題をとらえる力を活用し、話し合った内容を基に、主題を自分なりの言葉で表現することができる。 （ワークシート、話合い）
４　本時の学習を振り返る。　(3) ・本時の学習へのかかわり ・これまでの学習の活用	○　他の椋鳩十作品や作者のプロフィールを簡単に紹介し、読書への興味を喚起させる。